

追跡

どうなった？一般質問のその後

過去に議員が行った一般質問が、その後、町政にどう活かされたのか、追跡調査をした。

地域コミュニティと避難所
対策について

(平成23年6月定例会)

坏地区避難所（坏公民館・坏小学校）が被災した。今後、坏小学校校舎の一部改築耐震化と、地域防災計画を考慮し、坏地区の交流の場として校舎を再生しては。

質問

町立常北幼稚園舎の老朽化に
ついて

(平成24年6月定例会)

町立常北幼稚園は昭和45年に開設され、園舎が老朽化しているが、町の考えは。園児の安全と環境を考えれば何か計画的なものを持つべきではないか。

跡地利用検討委員会で検討して
いく

坏地区の避難所は全て震災で被災しており、避難所としては危険性が高く、使用できない状況。今後は跡地利用検討委員会で、そういうことも踏まえて検討していく。

答弁

園児数の動向を注視しながら運
営方針を検討していく

建設から42年が経過し、これまで小規模改修等により施設の維持管理をしてきた。園児数は合併来減少している。今後、園児数の動向を注視しながら運営方針を検討していく。

現在の状況は、こうなっています

耐震診断の結果を基に、避難場所に指定
し、地域の集会所としても利用している

震災後の平成24年度に旧坏小学校の耐震診断調査を行ったが、その調査結果は、構造耐震指標（I S 値）が0.68で、国の基準0.6を上回っていた。（0.6未満は大規模な地震に対して、倒壊または崩壊の危険性がある）これらを踏まえ、平成25年度に、町地域防災計画の避難場所として旧坏小学校を指定した。また、現在、校舎内の一部を地域の地区集会所として利用している。

城里町教育振興基本計画において、
方向性を示していく

人口減少とともに、今後も出生数が減少が続けることが予想される。そのような中、平成27年4月から子ども・子育て支援新制度がスタートする予定である。新制度では共通の仕組みで幼児教育と保育を受けることができるため、民間施設の動向を踏まえ検討しており、来年度策定の城里町教育振興基本計画において、その方向性を示していく。

編集後記

2014サッカーワールドカップがブラジルで開催され、佳境を迎えている。前回優勝のスペインが一次リーグで敗れるなど波乱の多い大会だ。日本も残念ながら決勝トーナメントへ進むことはできなかった。しかし、国の名誉をかけた選手たちのプレーは観る者の心を熱くする。深夜から早朝にかけてのテレビ中継になるが、欠かさず観ている。今回ベスト4に駒を進めたのは、ブラジル・ドイツ・オランダ・アルゼンチンだ。うまさに加え、攻撃の速さや力強さを備えたチームが残っている。相手の隙を一瞬で見抜く力が、これまで以上に要求されているように思える。そこで、我が城里町政にも決断とスピードを求めて編集後記としたい。

三村 孝信 記

議会広報委員会

委員長 三村 孝
副委員長 南 部委員 関 誠一
片岡 紀夫
藤岡 美子